

登録コード	L2320200	開講年度	2026				
担当教員	鎌田 隆行			副担当			
授業科目	フランス言語文化概論						
英文授業名	French Language and Literature: Introduction						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	金曜・2時限
講義室	人文第1講義室		遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前が対象】異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができる受容力				異文化理解を深めるために、フランス文学史の基礎事項を把握することができますようになります。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降が対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】				異文化理解を深めるために、フランス文学史の基礎事項を把握することができますようになります。		
授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	歴代のフランス文学の中から代表的な作品を取り上げ、解説を行います。いずれも選りすぐった名作ばかりです。これらの作品の魅力を読み解き、また近代小説の形式の発展と変容を跡づけていきます。さらに、主要な文学関連事項についても随時、参考資料をもとに要点を学びます。						
授業計画	1. ガイダンス：この授業の進め方、教科書、辞書、事前事後学習の方法について学びます 2. 古代～ルネサンス 3. 17世紀：古典主義、モラリスト文学 4. 18世紀（1）：モンテスキュー、ディドロ、百科全書 5. 18世紀（2）：ヴォルテール、ルソー、カフェについて 6. 19世紀（1）：ロマン主義（スタール夫人、シャトーブリアン） 7. 19世紀（2）：近代小説の誕生（スタンダールとバルザック） 8. 19世紀（3）：ユゴー、サンド、フロベール 9. 19世紀（4）：メディアと文学、新聞連載小説 10. 19世紀（5）：自然主義（ゾラ、モーパッサン） 11. 20世紀（1）：ジッド、ブルースト；シュールレアリスム 12. 20世紀（2）：サルトル、カミュ、ヌーヴォー・ロマン 13. 20世紀（3）：20世紀終盤以後のフランス文学 14. フランス文学とアダプテーション 15. まとめ；期末レポート出題；この授業についてのアンケート（10分程度）を行います						
成績評価の方法	中間レポート（50％）、期末レポート（50％）により、総計点に基づいて成績評価を行います。						
成績評価の基準	レポートでは、(1)問題の設定が適切であり、(2)その問題の背景を説明できており、(3)その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(4)それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、(5)その上で自分の見解を提示できており、(1)～(5)に加えて、授業で学んだ文献が適切に参照されていれば「卓越している」。(1)から(5)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」と評価されます。						
事前事後学習の内容	毎回の授業の終わりに学習内容を振り返って事後学習用の短答式課題を出題し、また、次回の内容につながる予習の指示を行います。次の回の冒頭で、前回の事後学習課題について討議を行います。 この授業は90時間の学習を必要とする内容です。したがって、60時間以上の授業時間外学習が必要となります。						
履修上の注意	受講前に必ずこの授業のeALPSを参照してください。 当然ながら、不測の事態がない限り毎回出席すること。						
質問、相談への対応	授業終了後、時間があればその場で質問に応じます。それ以外の時間はメールで対応します（メールアドレスはeALPSに掲載）。						
教科書	教材をPDFで配布します。						
参考書	授業中に随時紹介します。						